

2024年度 教育課程 5歳児 I期(4~5月)

- ・年中の時にしていた遊びを気の合う友達と一緒にする姿が色々な場面で見られる。進級したことや長期休みを経て友達と再会したことを喜び、年長児の生活を楽しむ子どもが多い。
- ・中期的な見通し(1~2週間程度)をもって活動に取り組むことができるようになってきている。活動の目的をそれぞれのタイミングで理解し、クラスとして目的に向かって取り組む面白さを実感し始めてくる。
- ・クラスでの話し合いの場面では、自分の思っていることや考えたことを自分なりの言葉で意欲的に伝えようとする姿が多く見られるようになってくる。また、気の合う友達だけでなく、クラスの色々な友達の話していることに耳を傾け、聞こうとする姿が増えてくる。中には、クラスの友達の意見に対する自分の考えを話す姿も少しずつ見られるようになってくる。
- ・気の合う友達を誘い合って自ら選んでする活動に積極的に取り組む姿が多い。保育者が遊びに入り込むと子どもたちが集まってくることが多い。その中で、大人数でする遊びを好んでするようになり、気の合う友達のグループが合体して一緒に遊ぶ機会が増えることで、自然とクラスの色々な友達が交わって遊ぶことが多くなってくる。
- ・自ら選んでする遊びや、みんなと一緒にする活動の中で、自分の思いや考えを言葉にして、クラスの周りの友達にも伝えたいという気持ちや、伝えようとする姿が見られるようになる。友達や保育者に伝わったり、認めてもらったりすることが喜びになり、より意欲的になっていく子どももいる。
- ・自ら選んでする遊びでは、自分がしたい思いをはっきりともち、遊びに向かっている子どもがほとんどである。この期の前半は、気の合う友達と一緒にいたい、友達と一緒に遊びたいという思いが強い傾向にあったが、後半になると、遊びの中で思いを実現させるために、自分なりのこだわりを見つけたり、色々な道具や素材を使ったりしている姿に変わっていく。そのこだわりや試したことを気の合う友達や保育者、興味をもった友達に自分なりの表現で伝えることが多くなっている。

ねらい

- 自分の思いや考えを自分なりの表現で表し、伝えることを喜ぶ。(創造する)
- 色々な友達と積極的に遊んだり、活動したりする。(人とともに)
- 幼稚園で起こる出来事に興味関心を示し、積極的に関わっていかうとする。(地球の中で)

育ちが期待できる・発揮される資質能力

- ・年長児になったことを自覚する。(進んで参加する態度)
- ・自分の思いや考えを伝えるための言葉や伝え方がわかる。(コミュニケーションを行う力)
- ・先の見通しをもち、それに対して自分にできることを考え、実行しようとする。
(未来像を予測して計画を立てる力)(進んで参加する態度)
- ・気心の知れた友達といことで安心して過ごす。(他者と協力する態度)
- ・年長児の生活に期待感をもち、積極的に行動する。(未来像を予測して計画を立てる力)(進んで参加する態度)
- ・自分の思いや考えを他者と共有しようとする。(コミュニケーションを行う力)
- ・友達を受け入れる許容範囲が広がる。(他者と協力する態度)

2024年度 教育課程 5歳児 Ⅱ期(5～8月)

- ・子どもたちは新たな生活にも慣れ、登園時の身支度も済ませ、自ら選んでする活動に意欲的に向かうようになる。また、登降園時の準備の際や、片付けの時には、忘れていたことがあったり、使っていた道具が出したままになっていたりしたときに、その友達に声をかけたり、届けたりする姿が多く見られるようになる。自分たちで幼稚園の生活を進める中で、自分のことだけではなく、周りの友達の様子を気にかけるようになり、クラス全体で生活を共にしている意識が芽生えてきている。
- ・自ら選んでする活動では、一人一人が目的をもち、遊びに向かっている。その中で、気の合う友達同士の繋がりがより強くなり、自分たちで遊びのイメージや目的、面白さを共有して、一緒に繰り返し遊ぶようになる。
- ・気の合う友達とのつながりが強くなる一方、生活グループでの当番活動やみんなと一緒にする活動の中では、気の合う友達以外との関わりも増えてきている。特にグループでの活動は、保育者の援助が必要なグループもあるが、これまでかかわりの少なかった友達と活動することの楽しさを感じ、新たな友達関係での活動に意欲的になっていく。
- ・5月の遠足での経験で、クラス全員で同じ目的に向かって活動する楽しさを一人一人が感じる事ができた。その経験を基に、クラスでの活動により積極的にかかわろうとしたり、自分たちで考えたことの実現に向けてクラス全員で考えたりするようになる。クラスでの出来事や活動を自分事として捉え、共通の目的やイメージが多くの子どもたちの中で共有されるようになってくる。
- ・クラスで集まった時や、みんなと一緒にする活動の中で、自分の思いや考えをよりはっきりと自分の言葉で話すようになってくる。さらに、友達の意見や様子を伺いながら、それに対しての自分の思いや考えを話すようになっていく。

ねらい

- 共通の目的やイメージの中で、自分なりの思いを持ち、試したり工夫したりして遊ぶことを楽しむ(創造する)
- 同じ目的や思いを持つ友達の考えに触れ、互いの思いを聞き合いながら遊ぶことを楽しむ(人とともに)
- クラスでの活動に自分なりの思いを持って積極的にかかわる(地球の中で)

育ちが期待できる・発揮される資質能力

- ・集団生活を送る上での決まりをわかり行動する(進んで参加する態度)
- ・自分の思いや考えを伝えるための語彙が増える(コミュニケーションを行う力)
- ・遊びの面白さがわかり試したり工夫したりして繰り返し取り組む(批判的に考える力)
- ・気の合う友達との間でイメージや目的が共有できる(他者と協力する態度)
- ・他者の言葉を聞き、内容や状況を理解する(コミュニケーションを行う力)(他者と協力する態度)
- ・気の合う友達の思いや考えがわかる(コミュニケーションを行う力)(他者と協力する態度)
- ・いろいろな友達と活動を進めていこうとする態度(他者と協力する態度)
- ・これまであまり関心のなかったことを自分事として捉える態度(進んで参加する態度)

2024年度 教育課程 5歳児 Ⅲ期(9～10月)

- ・長期休み明けや教育実習生がいるという環境で、個別の配慮が必要な子どもも数名はいるがほとんどの子どもが新学期の生活に期待を持ち、2学期の生活をスタートさせる。幼稚園で自分のやりたいことが明確であったり、見通しをもって新たな環境に適応していく力が発揮されたりしている。
- ・大勢の友達同士が集まって遊ぶ場面が増えてくる。その場の共通のイメージが共有されるようになり、共有されたイメージに沿って、それぞれが思いを持ちながら関わるようになってくる。クラスの友達の考えていることやしていることがわかるようになり、その友達の様子を受けて、自分なりの関わりができるようになってきている。
- ・同じ遊びを数日にわたって繰り返す姿が増えてくる。自分のしたいことを実現したいという思いが強くなることと同時に、粘り強く取り組むようになってきている。
- ・幼稚園生活の中で気の合う友達のグループ同士が数日にわたって集まって遊ぶことが多くみられるようになってくる。これまでの安定した友達関係を基盤にしながら、友達関係を広げていこうとする姿勢が見えてくる。
- ・より大勢の人数で遊んだり、活動したりすることを楽しむ子どもたちが増えてくる。気の合う友達だけでなく、クラスのいろいろな友達の思いや考えに触れてきたことで、友達への理解が広がり、一緒に遊んだり活動したりすることに前向きになってきている。
- ・気の合う友達に限らず、クラスの友達がしていることに対しても興味や関心を示し、自ら意欲的にかかわったり、その中で自分の思いや考えを出したりするようになる。気の合う友達との繋がりの中で、友達の思いや考えに触れて遊ぶ楽しさを十分に経験したことで、他の友達の思いや考えに触れてみたいという気持ちが芽生えてきている。

ねらい

- 自分の思いの実現に向けて粘り強く取り組む。(創造する)
- 様々な友達とのかかわりを広げ、いろいろな友達の思いや考えに触れることの楽しさや良さを感じる。
(人とともに)
- クラスの中で共有されていることや出来事を理解し、自ら興味を示してかかわる。(地球の中で)

育ちが期待できる・発揮される資質能力

- ・大人数の中で共有されているイメージや目的がわかる(他者と協力する態度)
- ・新たな環境に適応する(進んで参加する態度)
- ・目的の実現に向けて、知識や経験を活かす(未来像を予測して計画を立てる力)
- ・目的の実現に向けて粘り強く取り組む(進んで参加する態度)(批判的に考える力)
- ・色々な友達と過ごすことを楽しむ態度(他者と協力する態度)
- ・新たな友達と関係を作っていこうとする態度(他者と協力する態度)

2024年度 教育課程 5歳児 IV期(10～12月)

- ・友達と共有されている目的に向かって、考えや思いを出し合いながら、より良いものにしようとする姿が見られるようになる。遊びや生活の中での目的がより明確にもてるようになり、友達と言葉でコミュニケーションをとりながら目的に向かっていくようになってくる。
- ・保育者の力を借りなくても友達同士で考えを出しながら遊びを進めていくおもしろさを感じて遊ぶようになってくる。自分の思いを強くもてるようになることに加えて、友達の思いや考えを受け止められるようになり、それに対して自分なりに提案することができるようになってくる。
- ・友達と一緒に協力して遊びや活動を進めていく中で、自分にできることを考えて取り組むことができるようになってくる。共有された目的がわかるようになったことに加えて、友達のことがよくわかってくるようになる。また、友達と一緒に活動することがより楽しくなり、充実感をもつようになってくる。
- ・幼稚園の中で起こる環境の変化はもちろん、保育者や友達から聞いた園外での出来事についても興味や関心をもち、その出来事にクラスの友達と一緒にしかかわる楽しさがわかり、それぞれに思いをもちながらしかかわる姿が増えてくる。かかわりの対象や事象が広がり、それらを自分事にして捉えることができるようになってくる。

ねらい

- 友達と関わる中で、自分の思いや考えを広げて、遊ぶことを楽しむ。(創造する)
- 互いの思いを感じ取ったり、聞いたりしながら協力して園生活を送ることを楽しむ。(人とともに)
- 身の回りの環境や出来事に関心をもち、自ら意欲的にかかわろうとする。(地球の中で)

育ちが期待できる・発揮される資質能力

- ・奈良の自然や文化についての知識を得る(進んで参加する態度)(批判的に考える力)
- ・季節の移り変わりを、五感を通して感じる(進んで参加する態度)(多面的・総合的に考える力)
- ・友達の考えに触れて、自分の考えをより良いものにする(他者と協力する態度)(批判的に考える力)
- ・友達と協力しながら園生活をすすめる(他者と協力する態度)
- ・友達の思いや考えを受け止める態度(他者と協力する態度)(多面的・総合的に考える力)
- ・環境の変化を楽しみ、遊びや生活に取り入れる(進んで参加する態度)(批判的に考える力)

2024年度 教育課程 5歳児 V期(1~3月)

- ・様々な友達とかかわり、色々な思いや考えに触れたことで、自分の好きなことややりたいことがより明確になり、そのことを自分なりにどんどん深めていく姿が見られるようになる。自分と他者を対比させながら、自分自身について気付いたり、理解を深めたりすることができるようになっていく。
- ・自分の好きなことやしたいことを日々、繰り返し行う中で、目的や思いの実現に向かっていくことを自覚し、そのプロセス自体を楽しむようになってくる。自分自身や遊びについて客観的に見るができるようになってきている。「もっと」という気持ちがさらに強く出るようになり、それが実現していくことを楽しむことができるようになってくる。
- ・クラスの一人一人が友達の良さがわかり、互いを認め合ったり、励ましあったり、助け合ったりする姿が見られるようになる。友達にたくさん認めてもらう経験をしてきたことで、自分自身の良さを一人一人が自覚し、自信をもって園生活を送る。
- ・これまでの幼稚園生活を振り返り、自分たちがやってきたことを、互いに確認し合い、楽しかったことを話すことで、幼稚園への気持ちがより一層高まるようになる。また、それと同時に自分自身の成長を自覚し、身の回りの環境や出来事にさらに意欲的にかかわるようになる。長い期間を振り返る力がつき、思い出したことなどを言葉にして伝えることができるようになる。また、自分自身を客観的に振り返ることができ、自分の成長を自覚することができるようになる。

ねらい

- 友達の思いや考えに触れ、自分の思いや考えを深め、実現させる喜びを感じる。(創造する)
- 互いに認め合った友達を信頼し、充実感をもって過ごす。(人とともに)
- 身の回りの環境や出来事に関心をもち、自ら意欲的にかかわる。(地球の中で)

育ちが期待できる・発揮される資質能力

- ・ものの原理や、コツがわかり、それを活かす(批判的に考える力)(多面的・総合的に考える力)
- ・絵本やお話の世界を理解し想像を膨らませる(コミュニケーションを行う力)
- ・相手にわかる言葉で伝える(コミュニケーションを行う力)
- ・予測したり、見通しをもったりしながら目的を達成する
(批判的に考える力)(多面的・総合的に考える力)(未来像を予測して計画を立てる力)
- ・自分の成長を自覚し、自信をもって過ごす(進んで参加する態度)
- ・目的を共有する中で自らやるべきことがわかり積極的に行動する(進んで参加する態度)(他者と協力する態度)
- ・互いの良いところを見つけ、認める態度(他者と協力する態度)(多面的・総合的に考える力)